

狭き門、難関を突破

船出祝い合格祝賀会

総合資格学院

総合資格学院(株)総合資格、本社・東京都新宿区西新宿1-26-2、岸隆司社長)の新潟・長岡両校で受講した1・2級建築士および宅建合格祝



満面の笑みで喜ぶ合格者

賀会が9日、新潟市中央区紫竹山のNSGカレッジリーグ学生総合プラザSTEPで開かれた。参加者は難関を突破した互いの労を称えながら、新

たなステージに立った合格の喜びを分かち合った。会場では、古賀清新潟県統括支店長が「資格取得に向けて努力した合格者は、これから本当の勉

強がスタートします。有資格者というプライドと重みを感じて刻々と変化する情勢に対応して欲しい」とあいさつ。

また、来賓の(株)新潟県建築士会の阿部雅春常務理事は「建築士は業務の独占権が与えられる重要な資格。建築士の地位向上のために活躍を期待している」と激励。講師の稲垣建築事務所代表取締役・稲垣隆氏からは「建築士は尊敬される資格とともに、大きな責任があることを自覚してほしい」とエールが贈られた。

2011年の1級建築士試験合格者は全国で4560人、合格率40・7%という狭き門。このうち、総合資格学院は教室を開講している都道府県において2259人の合

格者を輩出し、50%の合格占有率を誇っている。県内の合格者は、57人中、26人が同学院2校の

合格者から喜びの声

吉田 悟さん(35)

1級建築士



「仕事のステップアップを図るため、勉強の日々でしたが、授業は分かりやすく身に入りました。平日、土日も学校に行っていたので、家族の理解が大きい支えでした。仕事では資格者という立場でスキルアップを目指したい」

塚野裕子さん(33)

1級建築士



「キャリアのある講師の説明は理解しやすく、現場と試験との違いもアドバイスしてくれて役に立ちました。家族のサポートを受けて取得した資格なので、会社への貢献とともに将来はフィールドを広げて仕事をしてみたい」